

お知らせ

- **安全研技術講習会「チェンソー」**；10月8日（月・休日）ちば里山センター主催、林業サービスセンター木村講師による、安全講習会を豊英島で開催します。実施要領は次頁。受講希望者は9月末迄に事務局宛てメール又は電話で申込み下さい。
- **きのこ観察会**；10月21日（日曜日）は中央博植物学研究科吹春先生指導のきのこ観察会です。携行品；弁当、飲み物、雨具、お椀、あればカメラ。9時40分第一駐車場集合。ご家族や近隣友人の同伴歓迎。

活動の記録

9月17日（月）晴 里山活動一日体験「ニホンジカとの共生を目指す森づくり」



里山センター金親会長、森事務局長、市原の金光・斉藤鈴木さんなどお迎えし総勢26名の里山活動一日体験

シカ博士こと福島さんの講義「ニホンジカの生態と植生」に聴き入る聴衆たち

今回の里山活動一日体験は、島内のニホンジカの個体数調査と「ニホンジカの生態と植生」という講義、島の植生をニホンジカから守るための植生保護柵の設置の3本立てで行った。参加人数は会員、一般応募者、里山センター会長・事務局長含め26名。駐車場に集合し、島の入り口まで移動して、個体数調査の簡単な説明を行った後、すぐに個体数調査に取りかかった。

個体数調査は、一定時間内に班別に手分けして島内を歩き回り、シカを目撃したり声や足音を聞いたりした内容を記録するという方法で行った。調査時間は10:20～10:50、8班に分かれて6ヘクタールの島内をくまなく踏査したが目撃や声等の記録はなく、島内の生息頭数はゼロ頭であった。

これまで、島内では最大3頭のシカが一度に目撃されたことがあるが、今回を含め3回の個体数調査では1頭も記録されていないことから、豊英島のシカは島に定住しているわけではなく、島と湖周囲の森林とを行き来していると考えられる。また、今回の調査では新しいフンや足跡が発見されておらず、ここしばらくの間は島内にシカがいなかった可能性がある。

個体数調査の後に行われた「ニホンジカの生態と植生」という講義では、シカの生態や行動、シカの生息密度と植生の変化、シカの摂食圧から植生を保護するための植生保護柵の必要性などについて解説があった。

午後からは2班に分かれ、10メートル四方の植生保護柵を2カ所に設置した。主な作業は支柱立て、ネット張りであり、人海戦術により作業をスムーズに終わることができた。この植生保護柵の内外の植生を定期的に調査することによって、シカが島内の植生にどの程度のダメージを与えているかを知ることができる。

今回の豊英島における里山活動一日体験は、里山活動としては異色のものと言える。しかし、里山における生物多様性保全を考えた場合には、植生にダメージを与えるシカといかに共存するかは重要な問題であり、その方法を探ることは今後の里山活動を進めていく上で重要になると思われる。



8班に分かれ島内6ha をくまなく踏査して、発見はゼロ



人海作戦の植生保護柵（ネット）設置、2班に別れ巨木林に2区画



楽しい昼食、調理班が前日から準備した具沢山味噌汁に満腹、ご馳走様



初の里山活動一日体験のイベント、十分な体制が整わない状況での強行でしたが、福島動物班長のご尽力、多くの会員のご協力、里山センターのご支援を得て実施できた事を感謝します。シカとの出逢いを求めて参加されたビジターの方々には期待を裏切る結果になりましたが、シカが定住していないことを確認した意義も大きい事をご理解のうえご容赦ください。

豊英島ニュース

7月中旬から9月上旬にかけて福島動物班長のセンサーカメラによる豊英島野生動物調査の結果、ハクビシン1頭（7/20 吊り橋下）、ノウサギ1羽 8/29 ほこら山北）ハクビシン1頭（9/1 ほこら山北）ニホンザル3頭（9/6-9/7 ほこら山北）などが確認されました。

ニホンザルの豊英島での映像は初記録です。最大3頭が同時に写っており、群れが一時的に島に滞在していたと考えられます。翌9月7日は台風でしたがその時も映像が記録されています。ハクビシンも島では初記録です。紙面の都合により次号で紹介します。



ニホンザル 07/09/06 ほこら山北

安全技術講習会（チェーンソー）参加者募集

主催：ちば里山センター

後援：ちば千年の森をつくる会

1. 日 時 平成19年10月8日（月） 10時から15時（予定）
2. 開催場所 君津市豊英島（ちば千年の森をつくる会の活動フィールド）
3. 集 合 9時30分 清和県民の森第1駐車場集合、車に分乗して豊英島に移動
4. 講 師 千葉県森林組合 木村講師
5. 内 容 安全面を主体にしたチェーンソー取り扱いの講義（テキスト）と実践
6. 携行品
 - ・弁当、飲み物、健康保険証、その他各自必要なもの
 - ・作業に適する服装、ヘルメット、ゴーグル、皮手、軍手、カッパ等
 - ・チェーンソー持っている方は、工具を含め持参ください。
 - 持っていない方は結構です。
7. 参加費 無料（独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催）

7月に受講を希望した方も再確認のため、再度申込みをお願いします。